

株式情報

株式情報 (2023年3月31日現在)

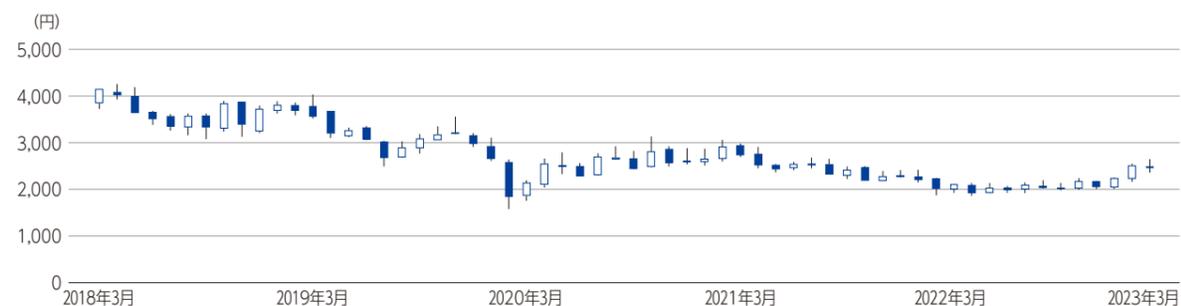
事業年度	4月1日～3月31日
定時株主総会	6月下旬
発行可能株式総数	197,730,800株
株式の状況	発行済株式総数 121,985,078株 (自己株式 4,591,631株を含む)
	株主数 49,096名
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

● 大株主の状況 (2023年3月31日現在)

氏名または名称	持株数 (千株)	所有比 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,397	17.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,688	7.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,425	3.7
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,228	3.6
JP MORGAN CHASE BANK 380072	2,445	2.0
株式会社みずほ銀行	2,000	1.7
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,845	1.5
JPモルガン証券株式会社	1,738	1.4
MSIP CLIENT SECURITIES	1,721	1.4
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,543	1.3

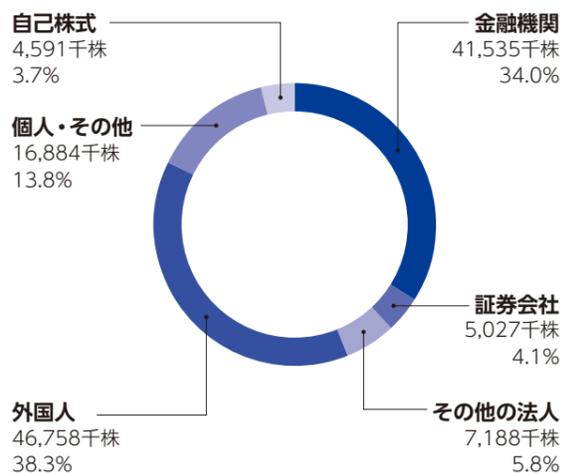
※ 当社は、自己株式4,591,631株を保有しております。
 ※ 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 株価の推移



※ 当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式について10株を1株へ併合しました。2017年9月以前の株価につきましては株式併合を考慮し算出した値となります。

● 所有者別株式分布状況 (2023年3月31日)



セメントのすごいところ

●セメントは どうやってつくられるか

セメントの製造工程は大別すると、原料調合・粉碎工程、焼成工程、仕上げ工程で構成されます。セメントは石灰石を主原料とし、粘土、けい石や鉄原料など天然原料からつくられていましたが、近代では、廃棄物や副産物の利用が進められています。

焼成工程では、例えば日産5,000トンといった高い生産性や80%といった高い熱効率から、NSPキルンが世界で標準的に使われています。NSPキルンでは、下図(1~4)のような物理現象や化学反応が起こっています。

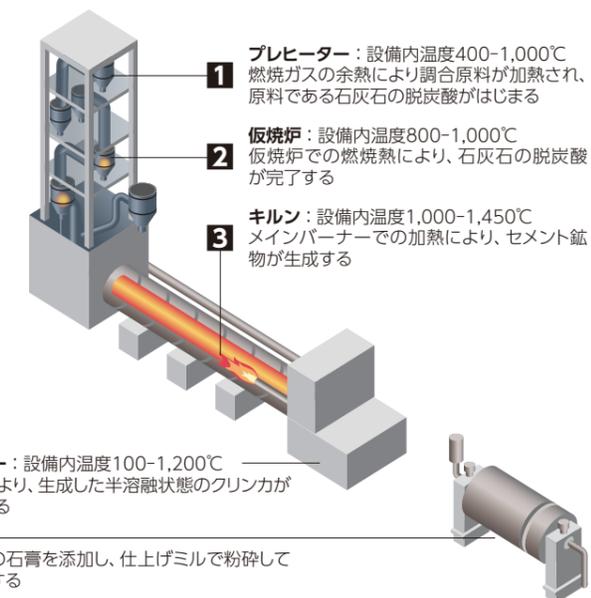
●セメントは 何がすごいのか

セメントの原料として製鉄所や石炭火力発電所から排出されるものを含めた各種産業廃棄物や副産物、また自治体から排出される都市ごみ焼却残さや汚泥などを使用し、その数量は合計でセメント1トンあたり400kgを超えています。さらに近年ではがれきや木くずなどの災害廃棄物の活用が進められています。

このように、セメントのすごいところは、製品であるセメントの品質を変えることなく、また二次廃棄物を発生させることなく大量の廃棄物・副産物を有効利用している点です。

なぜセメント工場では 廃棄物・副産物が利用できるのか

セメント工場では、焼成工程において、所定の化学組成の調合原料を1,450℃という高温で焼成してクリンカを製造しています。この高温での焼成により、ダイオキシンといった有害物質は完全に無害化され、燃え殻などの残さは、その主要成分であるアルミ、シリカ、カルシウムや鉄を、そのままセメント鉱物の原料として利用できるのであります。また、有機成分や可燃性廃棄物は石炭代替となるのです。さらに、火力発電所の排ガス処理によって生成した副産石膏はそのままセメントの原料として使えます。



● 利用される廃棄物・副産物と化学組成例

